

平成30年度事業報告

1 小型船舶の交通安全に関する教育（公益1）

○ 海難防止講習会

（1）海上安全講習会

各地区の小型船安全協会会員を主としたプレジャーボート等の小型船のオーナー・ユーザー等の関係者及び水上バイクの会員を対象に安全講習会を次のとおり開催した。今年度は、「小型船の安全運航について」、「海の安全情報の活用について」の講習を実施した。

担当小型船安全協会	回数	参加人員
関門地区	3	140
宇部地区	1	50
洞海地区	1	58
芦屋地区	1	14
福岡地区	6	160
有明海地区	2	48
唐津玄海地区	1	20
伊万里湾地区	1	70
長崎地区	4	161
佐世保地区	1	12
平戸地区	2	27
対馬地区	1	57
大分地区	1	26
臼杵地区	1	80
津久見地区	1	35
佐伯地区	1	42
長門地区	2	32
萩地区	2	88
ひびき灘地区	1	62
合計	33回	1,182人

(2) 安全講習会受講旗配布

当協会会員が積極的に安全講習会に参加することで、同会員をはじめ海洋レクリエーションの用に供する小型船舶の関係者の海難を防止するとともに、運航マナーの向上を図ることにより、安全で秩序あるマリンレジャーの普及と発展に寄与することを目的として安全講習会受講旗20ヶ所1,255枚配布した。

また、船舶を持たない会員及び水上バイクの会員に安全講習会受講証を関門地区・芦屋地区・佐世保地区の3ヶ所22枚配布した。(30年度黄色)

(3) 小型船夜間航海実習研修

委託者 : 運輸安全委員会事務局 門司事務所

実施日 : 9月13日(木)

小型船による夜間航行の体験を通じて、小型船の運航に関する基礎的な知識を習得することを目的に実施した。

①オリエンテーション(関門海峡らいぶ館)

大型船、小型船の船影及び灯火の見え方、航路標識の見え方、小型船の見張りの特徴、他船の避航の説明を行った。

②航海体験実習場所: 門司港第6船溜まり~部埼灯台~若松航路~六連島

使用船舶 : ニューこゆり(海上安全指導員艇)

航海体験実習場所: 門司港第6船溜まり~部埼灯台~若松航路~六連島

参加人員 : 調査官 6名・海上安全指導員 2名

○ 広報活動

(1) ポスター(カレンダー)の作成

安全運航を啓蒙するため「海難0への願い」と題し、自己救命策3つの基本として、「ライフジャケットの着用」、「適切な連絡手段の確保」、「海の緊急通報118番」を訴えるカレンダーを公益社団法人中部小型船安全協会と共同で作成配布した。

イ 規格・作成部数 A2番 カラー 200部

ロ 配布先 各地区小型船安全協会及びその関係先

(2) マリンセーフティブックの作成

主として海上安全指導員が、陸上から訪船する現場指導やパトロール艇による海上パトロールの際に、相手に手渡す指導啓蒙用及び会員募集用のマリンセーフティブックを作成し配布した。

イ 規格作成部数 21cm×14.8cm版 31ページカラー 1,000部

ロ 配布先 ① 小型船安全協会会員及びその他のプレジャーボート等小型船のオーナー・ユーザー

② マリーナ・釣具店等

2 小型船舶に対する安全パトロール（公益1）

○ 海上安全指導員による安全活動

（1）海上安全パトロール・海浜パトロール

海上安全指導員に、主として日祝日等のマリンレジャーの活発な海域での安全パトロール艇によるパトロールと訪船指導を依頼し、プレジャーボート等の小型船に対し救命胴衣の常時着用、航海計画の内容、船体・機関・装備品の整備状況、気象の把握等に関して次のとおり指導した。

また、マリンレジャーが盛んな時期において、海水浴場周辺に出動し、海水浴場等来場者の安全を確保し、砂浜付近まだ進出可能な水上バイクの会員と連携し、安全指導を実施した。

担当小安協	現場指導人数	現場指導隻数
関門地区	215	160
みやこ地区	265	207
宇部地区	468	300
洞海地区	905	425
ひびき灘地区	7	7
芦屋地区	178	150
福岡地区	1,799	1,124
有明海地区	184	136
唐津玄海地区	141	100
伊万里湾地区	431	275
長崎地区	1,798	1,226
佐世保地区	287	227
平戸地区	1,247	705
対馬地区	206	145
豊前海地区	179	123
大分地区	129	98
臼杵地区	260	196
津久見地区	163	138
佐伯地区	143	118
長門地区	48	38
萩地区	290	160
合計	9,343人	6,058隻

3 小型船舶の安全思想の普及及び宣伝（公益2）

○安全教室、海上イベントへの協力等

（1）関門港ボート天国

実施日：平成30年7月15日（日）

実施場所：北九州市関門港レトロ地区と関門港門司区第1船だまり及びその付近の海域

プレジャーボートの安全運航とマリンレジャーに対する健全な普及と安全思想の啓発を図るため、関門港で開催されたボート天国に参画し、会場・水辺警備を担当したほか、一般市民112名を海上安全指導員とともにモーターボートへ試乗させる行事を実施した。

（2）ちびっ子カーニバル 2018

実施日：平成30年8月26日（日）

実施場所：芦屋競艇場

芦屋競艇場において、小中学生及び保護者の海に対する基本知識や安全意識の向上を図るため実施した。親子安全教室では、訓練用人形及びAEDトレーナーを使用して、心肺蘇生法の流れを指導した。応急用救命代用品「浮くっちゃボトル」の作り方を指導した。

また、例年恒例である、水上オートバイの体験試乗も実施し、60名の参加者であった。

（3）博多湾体験航海（一般市民を対象）

実施日：平成30年7月16日（月）

場所：福岡博多湾内

参加人員：一般市民（親子）56名

海洋レジャーの健全な発展と一般市民との緊密な協調により、地域社会の発展に寄与することを目的に実施した。福岡地区小型船安全協会所属艇4隻を午前と午後の2回に分けて延べ8隻で湾内を巡航した。

（4）園児海洋体験学習及び老人介護施設訪問活動

① 老人介護施設訪問活動

実施日：平成30年7月9日（月）

実施場所：宇部沖一帯～老人介護施設（宇部市経費老人ホーム好生園）

参加人員：会員5名、3隻

慰問持参品：キス 150尾

② 園児海洋体験学習

実施日：平成30年10月21日（日）

実施場所：宇部マリーナ桟橋～宇部沖

参加人員 : 会員5名、3隻

園児13名、保護者等10名

学習を通じて、海の雄大さ、素晴らしさを体験し、これを契機に将来心から海を愛することができるシーマンが誕生することを目的に実施した。

(5) 安全啓発グッズの作成配布

① うちわ オレンジ 2000枚

海の事故ゼロキャンペーン用として、公益社団法人中部小型船安全協会と共同で作成した。

配布先 : 会員及び各海上保安部署、イベント、海上安全パトロール
2000枚配布した。

② ポケットティッシュ 1000個

配布先 : イベント、海上安全パトロール・安全講習会受講者等
778個配布した。

(6) 青少年のためのカッター教室・訓練による海難防止活動の啓蒙

同地域での海難防止活動を実施している公益社団法人西部海難防止協会と協働し実施した。

実施日、実施場所 : 平成30年6月23日(土) 田浦海岸
平成30年7月15日(日) 下関漁港

実践対象者 : 小・中学生及び父兄

教室・訓練者 : 当会ボランティア及び公益社団法人ボランティア(海上保安庁OB及び海技免許受有者で漕艇経験者)

(7) 2018九州ボートショー in 福岡

開催日 : 平成30年4月21日(土)、22日(日)

場所 : 福岡市ヨットハーバー特設会場

来場者 : 約2,300名

第七管区海上保安本部安全対策課、福岡海上保安部、福岡地区小型船安全協会海上安全指導員の協力のもとセミナーを実施した。

セミナー : 「命を預かるキャプテンの必須セーフティボートینگ講座」

(8) 西部ふれあい祭り

開催日 : 平成30年5月19日(土)

場所 : 山陽小野田市竜王山公園 オートキャンプ場

賛助会員でもある西部石油株式会社主催、宇部海上保安署の協力もと、啓蒙グッズの配布、協会パンフレット等を配布し活動等を幅広く周知した。

4 小型船舶の交通安全に関する調査及び研究（公益1）

○調査研究受託事業

(1) 「海の安全情報」利用状況調査業務

プレジャーボート運航者を対象に「海の安全情報」の利用促進への手法、情報コンテンツのあり方等の見直しに資する基礎データを収集することを目的に実施した。

委託者：第七管区海上保安本部交通部安全対策課

調査期間：自：平成30年9月1日

至：平成30年10月31日

対象者：会員及び免許更新講習者（福岡・佐賀・長崎地区）574名

A4版に製本した報告書4部及び報告書の電子媒体（CD）1枚を納品した。

調査期間：自：平成30年12月1日

至：平成31年2月15日

対象者：会員及び免許更新講習者（山口・大分地区）401名

A4版に製本した報告書4部及び報告書の電子媒体（CD）1枚を納品した。

(2) 小型船舶の活動海域の実態調査

九州北部海域の小型船舶の海難の一つとして、航行中の漁船が見張り不十分により停泊中のプレジャーボートと衝突する事故が頻発していることから、これの防止のため、プレジャーボートの活動海域の調査を実施した。

委託者：公益社団法人西部海難防止協会

調査期間：自：平成30年9月14日

至：平成31年2月28日

対象者：免許更新講習者（福岡・若松・唐津・対馬・伊万里・壱岐地区）

プレジャーボート関係者571人（2,537箇所）から回答を得た。

また、第七管区海上保安本部 交通部の協力を得て、漁業関係者189人

（559箇所）からプレジャーボートとのヒヤリーハット海域と停泊中のプレジャーボート衝突事故145隻分の発生位置を入手した。

A4版に製本した報告書2部及び報告書の電子媒体（CD）1枚を納品した。

(3) 平成30年度小型船舶在泊状況調査（福岡県・佐賀県）

福岡県及び佐賀県の管内の漁港、マリーナ、河川等に在泊する漁船、プレジャーボート等を調査することにより小型船舶の安全対策に資することを目的に調査を実施した。

委託者：公益社団法人西部海難防止協会

調査期間 : 自 : 平成30年7月2日
至 : 平成31年3月29日

対象船舶 : 漁港等に在泊する船舶とし、漁船、プレジャーボート以外の貨物船、作業船等はその他として分類する。

福岡県及び佐賀県の漁港等（離島を含む）に在泊する漁船、プレジャーボート等を調査し、位置図、在泊の状況写真、漁船、プレジャーボート等種別の集計表、在泊する漁港等の管理者、連絡先（河川等不明なものは除く）調査しデータを一覧表にまとめ報告書を作成した、報告書2部、電子媒体（CD）1枚を納品した。

5 小型船による災害支援活動（公益1）

○人命救助訓練

（1）訓練

イ 各地区小型船安全協会において、海上保安部署のもとで次のとおり人命救助訓練を実施した。

担当小安協	実施回数	参加人員	参加隻数
関門地区	1	25	2
洞海地区	1	50	7
有明海地区	1	17	
長崎地区	1	44	4
伊万里湾地区	1	24	
平戸地区	1	60	5
対馬地区	1	10	
臼杵地区	1	15	6
萩地区	1	22	3
合計	9回	267人	27隻

（2）救命胴衣等の貸与

新規の海上安全指導員に対し、指導時の安全確保と着用指導員として救命胴衣3着、マリンハット2個貸与した。

6 その他本協会の目的を達成するため必要な事業

○その他の事業

(1) 関係会議への出席

平成 30 年 5 月	「苅田港本校路暫定用に伴う航行安全対策調査 専門委員会」	(公社)西部海難防止協会
6 月	「平成 30 年度西日本海難防止強調運動推進連絡 会議」 「関門航路整備に伴う航行安全対策調査専門委員 会」	西日本海難防止強調運動 推進協議会 (公社)西部海難防止協会
9 月	「関門航路整備に伴う安全対策調査専門委員会 第 2 回委員会」	(公社)西部海難防止協会
10 月	「下関港湾計画改訂に伴う航行安全対策調査専門 委員会」	(公社)西部海難防止協会
11 月	「平成 30 年度全国海難防止等連絡調整会議」	(公社)日本海難防止協会
平成 31 年 1 月	「下関港湾計画改訂に伴う航行安全対策調査専門 委員会 第 2 回委員会」 「宇部港港湾計画改訂に伴う航行安全対策調査専 門委員会」 「下関港湾計画改訂に伴う航行安全対策調査専門 委員会 第 3 回委員会」	(公社)西部海難防止協会
3 月	「次世代浮体洋上風力発電システム実証研究適地 選定に伴う航行安全検討対策専門委員会」	(公社)西部海難防止協会

○物品販売事業 (収益)

(1) 協会旗頒布

当協会会員の団結と意識の向上を促し、対外的に本会の活動をアピールすることを
目的として 178 枚を有料にて頒布した。